

令和2年度第1回中央区清掃・リサイクル推進協議会（書面開催） 意見を集約したもの

開催日時	令和2年5月29日（金） 書類送付
配布資料	<p>（配布資料）</p> <p>資料1 中央区ごみ排出実態調査について</p> <p>資料2-1 中央区一般廃棄物処理基本計画の改定について</p> <p>資料2-2 中央区一般廃棄物処理基本計画（現行）の概要</p> <p>資料2-3 中央区一般廃棄物処理基本計画の改定に関する今後の予定</p> <p>資料2-4 中央区一般廃棄物処理基本計画の改定に関する意見書</p> <p>資料3 燃やさないごみの資源化について</p> <p>（参考）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度中央区清掃・リサイクル推進協議会委員名簿</li> <li>・ 中央区清掃・リサイクル推進協議会設置要綱</li> <li>・ 中央区ごみ排出実態調査報告書（令和2年3月発行）</li> <li>・ 中央区一般廃棄物処理基本計画2016</li> <li>・ 中央区一般廃棄物処理基本計画2016（概要版）</li> <li>・ ごみと資源の分け方・出し方（令和2年2月発行）</li> </ul>
議事の概要	<p>議 題</p> <p>（1）中央区ごみ排出実態調査報告書について</p> <p>（2）中央区一般廃棄物処理基本計画の改定について</p> <p>（3）その他</p>
委員からの意見	<p>別紙のとおり（委員から提出された意見書の各事項について、事務局が書面による集約と会議形式での回答を行った。）</p>

## 委員からの意見

### 1 議題

#### (1) 中央区ごみ排出実態調査報告書について

意見なし

#### (2) 中央区一般廃棄物処理基本計画の改定について

##### ○委員

可燃ごみへの分別不適物混入が24%あり、資源が捨てられていることから、分別指導をより一層行うこと。

##### ●区

広報活動やふれあい指導などを通じて、分別や出し方などの周知・指導を行っていく。

##### ○委員

「一人1日64gのごみ減量を目指す」を合言葉に行動すること。

##### ●区

広報活動やパンフレットなどを通じて、引き続き区民に周知していく。

##### ○委員

区収集について、家庭系ごみ量が事業系ごみ量を上回っており、これは以前の中央区では考えられないことで、時代の変化である。

##### ●区

ごみ排出実態調査の結果、家庭系の燃やすごみの排出原単位が前回より増加したこと、事業系資源の業者回収への移行が進んでいることなどが要因と考えられる。

##### ○委員

食品ロスを考慮することで、ごみ発生量は少なくなる。

##### ●区

食品ロス削減推進法に基づき課題をまとめ、今回の計画改定にも盛り込んでいく。

##### ○委員

基本計画を見直す時期として丁度良い頃と思う。

##### ●区

本計画の計画期間は10年で、5年おきに見直すこととなっており、今年度が計画改定の年となっている。

○委員

人口や世帯数の増加に対し、事業所数が減少していく中での改定となる。

●区

清掃・リサイクルを取り巻く動向をふまえ、計画に反映していく。

○委員

プラスチック循環戦略ではレジ袋の有料化が発生抑制につながっていく。

●区

プラスチック資源循環戦略などに基づき課題をまとめ、今回の計画改定にも盛り込んでいく。

○委員

食品ロス対策は目に見える対策なので、区民が取り組みたくなるようなルールづくりを行ってほしい。

●区

区民が取り組みやすい施策を検討し、わかりやすい周知を行っていく。

○委員

事業系ごみと家庭系ごみの減量目標を達成するため、アンケート結果を見据えて策定していくとよい（例：フードドライブの認知を高める方策、ごみの有料化）

●区

ごみ排出実態調査の結果をふまえ、減量目標を達成できるような取り組みを検討していく。

○委員

新型コロナウイルスが落ち着いた時期に、早急に改定すべき。

●区

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、今年度中の改定を目指す。

○委員

新型コロナウイルスによる自粛が早く解かれて、区役所での会議が行われるとよい。話し言葉での会議が必要であると思う。

●区

今後は感染状況を注視しながら、感染予防策を講じて協議会を開催する予定。

○委員

改定に関する予定は予定通りでよいと思う。

●区

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、今年度中の改定を目指す。

○委員

スケジュールの問題があるが、どこかで第1回を開催できないか。

●区

開催の時期を後ろ倒しにするのが困難なため、第2回協議会で第1回の内容についても触れさせていただく予定。

○委員

新型コロナウイルス禍によるごみ量の変化について、今後の計画と差が出る可能性があり、どう考えるかが課題。また、新たな取組みの可能性もあるかと思う。

●区

新型コロナウイルス感染症や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期などの影響を分析し、計画改定に反映していく。

(3) その他

○委員

燃やさないごみの資源化によりごみ減量を期待する。

●区

燃やさないごみの資源化量については、今後協議会の中でも報告していく。

○委員

今回のごみ排出実態調査で、未利用食品の排出状況調査を詳細に行ってくれたことに感謝する。

●区

ごみ排出実態調査の結果に基づき課題をまとめ、今回の計画改定にも反映していく。

○委員

コロナ禍により収集の皆さんのご苦勞があったと思うが、ごみ収集量に大きな変化はあったか。今回の事例をデータにまとめて今後の参考にしてほしい。

●区

- ・3月から5月のごみ量については以下のとおり。
  - ①区収集量：前年度同月比 1.2%～13.0%の増（主に家庭系の増）
  - ②持込量：前年度同月比 13.5%～53.1%の減
- ・新型コロナウイルス感染症に係るごみ量の変化については、東京二十三区清掃一部事務組合でデータをまとめているが、区としても記録を残していく。